

会議録（会議結果概要）

名称	第2回 各務原市総合計画審議会
開催日時	令和5年6月28日（水） 14:00～16:00
開催場所	各務原市役所 本庁舎 4階会議室4-3・4-4
出席者	北角浩一会長、富樫幸一副会長、柴崎建委員、平野華織委員、阿部雄介委員、井戸輝雄委員、宇野貴昭委員、近藤亜矢子委員、酒井聡委員、篠田勲委員、中野正勝委員、松浦知恵委員、森田宏委員、横山浩之委員、和智陽子委員、河合正嘉委員、五明竜也委員、鶴飼明男委員、江口佑美委員、亀井篤委員、林佳廣委員、別宮理恵委員、吉田明弘委員 ※欠席者：可兒正則委員、福島茂委員
議題及び 審議・協 議結果等 の概要	次第 1 開会 2 委員の紹介 3 議事 （1）市民ワークショップ等の状況について （2）次期総合計画 基本構想（素案）について 4 その他 5 閉会
	1 開会 事務局より説明 【副市長】 皆さま方におかれましては、公私ともにご多用のところ、第2回の審議会にご参画いただきましてありがとうございます。また、日頃より各務原市政運営にご理解とご協力を賜りまして、この場をお借りして心より御礼申し上げます。 さて、現在の総合計画におきましては、「笑顔があふれる元気なまち～しあわせ実感 かかみがはら～」を将来都市像として掲げ、これまで様々な施策、事業に取り組んでまいりました。しかしながら、人口減少、少子高齢化といった課題に加えまして、新型コロナウイルスの発生によって、社会が大きく変容しております。また、近年で言えば ChatGPT に始まるようなデジタル化についても、急速に発展しております。 次期総合計画では、この先 10 年間を見込んで計画を立てるわけですが、これまでの 10 年間でも大きく様変わりしているように、今後 10 年間を見通すことは至難の業です。 ただ、このような不透明で先が見えない時代だからこそ、しっかりとした総合計画を、一歩先を見定めて策定することが、各務原市が誤った方向に進むことを

防ぎ、正しい事業の実施につながりますので、皆さまの幅広い知見をお借りしながら策定したいと考えております。

本日の議事では、今後 10 年間の将来都市像を含む基本構想につきまして、ご審議を賜ります。総合計画の核となる部分ですので、皆さまのご経験、あるいはお立場を踏まえまして大所高所からのご意見を賜りまして、ご審議をいただきたいと存じます。本日は大変忙しい中ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 委員の紹介

3 議事

- (1) 市民ワークショップ等の状況について
- (2) 次期総合計画 基本構想（素案）について

《事務局より説明》

《質疑意見》

【委員】

- ・ 総合計画策定の趣旨に全国的な記述しかないため、各務原市についての記述を追加してほしい。さらに、可能であれば、明るい面を入れたほうがよりなじみやすくなるのではないかと思います。

【事務局】

- ・ 対応を考えさせていただきたい。

【委員】

- ・ 「序論」のところで、各務原市の魅力を高める取り組みを行うことをうたってほしいと思う。

【委員】

- ・ 他市町との比較対象がなかったので、納得できる数値なのか、また、全国的という大きな形で捉えてはいるが、各務原市における問題点、強みが読み取れなかった。もう少し目先の、自分たちが抱えている問題、市の問題や特徴が落とし込めるような形だとよりよいのではないかと思います。

【事務局】

- ・ 「2040年頃の社会経済情勢の展望」のところで各務原市についても記述したが、確かに暗い部分も多い。強みも落とし込めたらと思うので、内容は検討させていただく。

【委員】

- ・ アンケートで18歳以上の市民の回収率が39.3%は非常に問題だと思う。対象者は絞ったのか無作為で実施したのか。

【事務局】

- ・ 3,000 人は無作為に選んだ。回収率は統計上 3 割ぐらいあれば信頼性がある。低いと感じるかもしれないが、統計的には問題ないと認識している。

【委員】

- ・ 現在進行中の新総合体育館のアンケートも回収率が低かった。無作為なのでと理解はしたが、ターゲットを絞るやり方をしたほうがよいと思う。
- ・ 学生の世代は、世の中の責任世代だと思うので、その世代の子供を持つ責任世代にターゲットを絞って行ったほうがよいのではないか。子供を教育する前にまず大人を教育しなければならないという思いを持てるかが問題になってくると思うので、アンケートの取り方を考えても面白いかなと思う。そこで見えてくる部分あると思うので、考慮していただけるとよい。

【事務局】

- ・ 参考にさせていただく。

【委員】

- ・ 回答結果はニーズなのかウォンツなのかを意識して、誰でも声を上げたものが多ければ採用するのではなく、基本的に市の目指す姿があり、そこに市民の声を乗せていくものなのかなと思う。
- ・ 結果を事業の担当各課に下ろして、ニーズなのかウォンツなのかを精査して生かすところまでしていただきたい。

【事務局】

- ・ 市民意識調査、ワークショップ、団体、企業アンケートの調査結果は、庁内で職員 1 人 1 人が目を通すように周知をしていく。

【委員】

- ・ 基本構想の中に掲載される市民の声のページ数が 3 ページぐらいで、資料 6 の 8 ページの「幸福度について」は年代別に多少違っており、項目も、定住、将来のまちの姿、施策の満足度、幸福度以外にも必要な情報もあると思うので、可能であればもう少し紙面を取っていただきたい。
- ・ 4 ページに「介護人材の需給ギャップが拡大する」と書かれてあるがどのようなことを指しているのか。人材不足だが施設の方が多く求めていると判断すればよいのか。
- ・ 5 ページに「高齢化の進行により救急搬送人員数が 2035 年まで増加する」と書かれてあるが、これが「空間管理、治安・防災」か「医療・介護」なのかを教えていただければありがたい。

【事務局】

- ・ 市民の声の紙面の掲載の件は、調査結果は市のウェブサイトでも公開をしているが、市民への公表ということではなく総合計画書に市民の声というページを増やしたほうがよいというご意見か。

【委員】

- ・ 必要なものが漏れていたりしないのかと思ったので、すべてが公表されれば大

丈夫である。

【事務局】

- ・「序論」に関しては、多くの人に読んでもらうために、情報を詰め込み過ぎるのもどうかというのがある。ただ、計画書の資料編で全部は難しいが載せるようと考えている。
- ・「2040年頃の社会経済情勢の展望」のところの「介護人材の需給ギャップが拡大する」は、介護人材不足が、対象が増えることにより、もっと広がるという意味になる。
- ・「高齢化の進行により救急搬送人員数は2035年まで増加する」は、ご指摘のとおり、「医療・介護」にも近いのかというところで、救急という面で「空間管理、治安・防災」に入れているが、分かりにくい面があるので、「医療・介護」のほうに位置付けることも考えたいと思う。

【委員】

- ・「将来都市像」の「つながる」の解説を分かりやすくしていただきたい。

【事務局】

- ・誰が読んでも分かりやすいように内容を工夫したい。

【委員】

- ・「将来都市像」と副題とのつながり方も大事である。
- ・都道府県では鳥取県と島根県の幸せ度が非常に高いが、昔ながらの近所付き合いがある、社会関係資本が充実している、つまり、ご近所付き合いが残っている地域であることが関係している。
- ・ただ、アンケートのまとめの資料2-2の20ページの「幸せであるために重要だと思うことについて」では、1番は「家計の状況」、2番が「自分や家族の健康状況」で、ご近所付き合い等の関係性を大事にするまで余裕がないのが現実である。
- ・「将来都市像」としてはこれでよいと思う。ただ、経済状況も大事である一方、もっとつながりも大事だと丁寧に説明をしていくことが必要である。

【事務局】

- ・つながりづくりは、後期基本計画で掲げたが、始まったのが令和2年で、コロナ禍であり、施策が進められない状況の中での市民意識調査で、家計や家族の健康が上位にきたのかと思っている。コロナが5類になり、いろいろな活動も活発に復活してきたので、このつながりづくりは、さらに力を入れていきたいと思っている。

【委員】

- ・資料6の14ページの「基本理念」、「基本目標」のところで「もっとつながる」が、将来の各務原市の都市像として何を達成できるかのイメージがつかない。これによって具体的にどういう現象が起こって、各務原市がどういう方向に動いていくかは、見えにくい。

- ・ストーリーの流れは、もっとスムーズに、しかも力強い感じで入ってくるような形でつなげられたほうがよいのではないかと。ピラミッドのつながり方、言葉の使い方も、もう少し工夫できるのではないかと思った。

【事務局】

- ・持ち帰って、検討させていただく。

【委員】

- ・各務原市でも外国人の就労者も、居住人口も増え始めていると思う。そういう方とのウィンウィンの書きぶりをどこかでしておいたほうが、外国人の方が来るときに、この市はこういうことを考えているということを示すことができる。労働人口は外国人の方に少しサポートをいただかないといけない時代になってしまうので、ご検討いただければと思う。

【事務局】

- ・基本計画で詳しく検討をしていくことになると思うが、外国人の方、多文化共生は、基本目標③に位置付けて、政策のほうを進めていくことになると考えている。

【委員】

- ・基本構想の「将来都市像」はこの言葉でいいと思う。最上位計画なので、漠然とした形でも言いたいことが分かるような形でよいと思う。ただ、各事業が、基本構想につながっていると分かることは大事だと思うので、各種事業で頑張っって背中で見せていただくとよいと思う。

【委員】

- ・基本目標が、全て、「みんな」という言葉で始まっているので、「将来都市像」の「もっとつながる」は、「みんなとつながる」というように、「将来都市像」にそれを言葉として持ってきたほうが分かりやすいのではないかと思う。

【事務局】

- ・「もっと」を最初に持ってきたのは、コロナ禍で今までつながりもできなかったというところで、各務原市の将来に向けて、勢いをつけたいという意味である。確かにここを、「みんなとつながる」とすると、基本目標とのつながりが強くなるので、持ち帰って検討させていただきたい。

【委員】

- ・「将来都市像」は、語感が悪いと感じる。スローガンの的なものであれば、もっとテンポ良く覚えやすいものができればすてきかと思うので、ご検討いただければと思う。

【事務局】

- ・今の総合計画の将来都市像が、リズムや収まりがよいので、まったく同じものもどうかということで、今回は「もっとつながる みんなの笑顔があふれる」をプラスしたが、確かにリズムの問題も庁内では意見として出たので、考えてみたいと思う。

【会長】

- ・「みんなの」を外すだけで、かなりリズムが良くなると思う。

【委員】

- ・ワークショップでもいろいろな言葉が出ていたので、市民の言葉やキーワードを拾っていくと、各務原らしい計画になるのではないかなと思う。
- ・「みんな」とか「つながり」をつくるためには、コミュニケーションが大事だと思う。1人1人の意見をお互いにつないでいって、まちをどうするのかとなっていくと、アンケート結果も生かせ、これからのまちづくりにつなげるためにもよいと思う。
- ・基本目標の9つの項目が並んでいるが、相互の関係がわからない。フローチャートの的に立体的に組み立てるとよりよいと思う。

【事務局】

- ・今回の市民意識調査やワークショップのいろいろな意見の多くは個別政策に関わるものなので、基本計画の中で分析しながら検討していく。また、「基本目標」の1つ1つは独立しているが、その下の施策や実施計画の部分で、横のつながりは意識して進めていく。

【会長】

- ・「つながる」というキーワードは、非常に重要なキーワードだと思っている。幸せにもつながり、また少子化対策にもなってくると思うので、いろいろなところで、どのようにしてつながっていくのかは重要だと思い、中心に据えるのはよいと思う。

【委員】

- ・各務原市は、中心部に基地等があるので、中心部がコンパクトにならなくて、散らばっているのも特徴である。
- ・もう少し細かく地域別の年齢構成を見ていればこれからどうなるかがほぼ分かるので、それにあわせて、住み続けられる、住みやすい、どのようなまちになるのかを具体的に書いてもよいかなと思う。
- ・アンケートで、便利と不便の両面で交通が挙がっていたが、地域差がある。名鉄の沿線は、おそらく楽で、そこから離れると途端に厳しくなると思うが、どうつながるかとか、土地利用とあわせて交通関係も考えていくとよいと思う。

【事務局】

- ・人口に関しては、推計は令和16年、約10年後には13万2,000人まで減少すると推計している。現実的なところを目標にすれば、この数字に近くなるのかなと思うが、いろいろな施策を積極的に打つことで、14万人は維持したいという思いから設定をさせていただいている。

【委員】

- ・現在の市の産業を考えると、航空宇宙産業が伸びてくると思われ、ほかにはない産業を有しているので、土地利用はどのようにしていくかとなる。交通は名

鉄と JR が来ているので、名古屋と岐阜に近いというポジションになる。

- ・ 市内もバスはかなり動いているので、将来、無人バスのようなものが動かせる取り組みを実現させれば、見方も変わるのではないかと思う。空き家はどのように対応するかは、今後の検討材料になると思う。

【委員】

- ・ 各務原市の、各務原線沿いに住んでいる方の勤め先は、どの辺りが多いか。

【委員】

- ・ 国勢調査の通勤、通学のデータ、名鉄の乗降客数でも分かるが、東側は名古屋方面、犬山、江南に、西側は、岐阜市やその周辺が多い。
- ・ 市内での就業者、通学者は半分程度で、非常に少ない。その分、周辺の地域と往来が多い。逆に岐阜からこちらに来る人も多い。広域的に考えると、基本計画の中に入ってくるが、以上の範囲の地域とのつながりで考えればよいと思う。川島だと一宮方面に出ていく。

【委員】

- ・ 幸福度が、まちづくりの中の主要なターゲットの 1 つだと思うが、幸福度の構成要素の中に、経済的、仕事、子育て、環境、学校が含まれていると考えると、人がどのように流れるかを把握することで、ターゲットへのアプローチが見えてくるのかと思う。アンケートの結果の数字の解釈によって、どこに注力すべきか、注力した結果こういう結果が得られるだろうという予測が立てやすくなるし、説明や理解がしやすくなると思う。

【事務局】

- ・ 市民意識調査の設問は、定点観測をするため、同じ質問で、同じやり方で、継続して実施している。どのようなやり方で行えば、効果的な結果、もっと分かりやすい結果が得られるのかは、研究していきたいと思っている。

【委員】

- ・ 全体的には 5 地区あると思うが、人口の構造的な分析もしていただいたほうがよい。

【事務局】

- ・ 資料 6 の 20 ページに全体の人口推計を載せており、この推計は小学校区別、年齢別に行っている。どの小学校区が、どのような年齢構造で将来進んでいくかは結果としてつかんでおり、そこは分析して、今後の人口減少や少子化の施策に生かしていきたいとは思っている。

【委員】

- ・ 各務原市は、住んで生活するというよりは、ベッドタウン化しているような状況であるので、これから起業、新しく何かをやる、ベンチャーの人たちの手当てもみていく取り組みがよいのではないか。
- ・ 空き家等に、新しい、小さな事業を始める人たちを当て込んでいく、マッチングさせていくところにも目を向ける必要があると思う。

- ・近くで住んで働けるのが、都市が元気になっていく方向性の1つの案かとは思っているので、寝に帰って休むだけのまちにはならないように、カンフル的な施策があるとよいかと思った。

【事務局】

- ・そうした施策については今のご意見を参考にさせていただいて検討していきたいと思う。

【委員】

- ・令和16年度に14万人という目標は、政府は異次元の少子化対策に取り組んでいるが、今の状況からは人口減少は避けられないのかと思っている。各務原市がこれを達成するには、裏を返せばほかの市町村から、移住、定住を促すこととなり、目標自体がそぐわないのではないかと。

【事務局】

- ・確かに今の状況を受けると厳しい、もしかするともっと減るかもしれないと想定されるところではあるが、強気で14万人と設定をしている。

【委員】

- ・2040年の「つながる」が、対面、リアルなのか、SNSというインターネットの世界なのか。どこの場面においても誰一人取り残さないような複合的なつながり方を考える必要があるのではないのかと思った。

【事務局】

- ・みんなが集まることで地域や市が活性化することにつながっていくかと思うので、いろいろなつながりを含めて活性化させていきたいと考えている。

【委員】

- ・各務原市を総括して見たときに、住みやすい、よいまちになってきたと感じているが、評価する切り口が違うと、違う評価になってしまうのではないかと。例えば文化的なまち、文化的なレベルの高いまちという切り口で見たときに、近隣の市町村と比べて各務原市はよいポジションを取れないという気がしている。
- ・中長期の計画を組む段階では、そのようなところを意識しながら織り込んで作成していただけるとありがたいと思っている。

【委員】

- ・細かく分析し過ぎだと感じた。その結果ネガティブな話が強くなってしまう。住みたいまちでは、各務原市は県内2番目という話があり、よいまちに住んでいることになる。
- ・将来的に何かに取り組んでいくべきことは模索していく必要はあるが、現状に満足することも考えていかなければと思う。皆さんが仲良くなればよい、つながりができればよいと思っている。

【委員】

- ・鵜沼地区は、高齢化で、新しく入ってくる人がほとんどいない状況で、今後ど

	うなるのか心配である。 ・中学生や高校生のアンケート、ワークショップを実施されたが、今の若い人のことが、あまり反映されていないような気がする。 ・若い人が、一時は外へ出るかもしれないが、また帰ってこられるような将来の各務原市を考えることが一番大事ではないかと思っている。 4 その他 【事務局】 ・次回の会議の日程は、9月1日金曜日の1時半から2時間程度で、場所は本日より同じ会議室での開催を予定している。 【会長】 ・次回の会議でも、基本構想の素案についてご意見いただき、取りまとめ、答申したいと考えている。 5 閉会 【会長】 ・以上をもち第2回各務原市総合計画審議会を終了する。
会議資料	資料1 各務原市総合計画審議会 委員名簿 資料2 各務原市まちづくりに関する市民意識調査の結果報告書 資料3 ワークショップ結果報告書 資料4 各種団体・企業へのアンケート調査 結果 中間 報告書 資料5 各務原市総合計画の骨子（案） 資料6 各務原市総合計画基本構想（素案） 資料7 現各務原市総合計画との比較表
備考	